

## ●洗面台…きれいに保つには、水気を残さないのが肝心



洗面台の汚れは、石鹸カス、体の皮脂、水アカなど。時間がたてばたつほど汚れはおちにくくなります。使うたびに乾いたぞうきんで水気をふき取っておくのが理想です…。できたら、少なくとも週に一度は浴室用洗剤をつかって たまった汚れをスッキリ落としておきましょう。

## ●鏡…洗剤不要の新聞紙を使いましょう！

新聞紙のインクに含まれる成分は、汚れ落としに最適。吸水性もよいため、拭きあとが残らず、二度拭きの必要もありません。

## ●こんな道具を 使ってみましょう!!!

## ● 歯ブラシ



汚れをこすり取る、かき出す、磨く…と幅広く使えるアイテム。使い古した歯ブラシは、捨てずにお掃除用にとっておきましょう…。

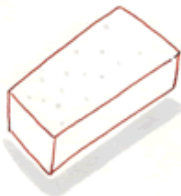
## ● スポンジ

食器洗い用のスポンジに水や洗剤をふくませて汚れをこすり落とします。洗面台の上においておくと便利です。



## ● メラミン製スポンジ

洗剤を使わずに使用できるスポンジです。水をふくませてこするだけで、汚れがとれます。水アカに効果があります。



## ● 軍手

ブラインドの清掃時や本棚、飾り棚などの掃除に「軍手ぞうきん」として使用。

使用後は洗って何度でも使えます。



## ● 割りばし

すき間や サッシの掃除に活躍します。ティッシュペーパーやキッチンペーパーを巻きつけ、ゴムでとめて、汚れをかき出します。



## ● 新聞紙

汚れをこすり取る、かき出す、磨く…と幅広く使えるアイテム。使い古した歯ブラシは、捨てずにお掃除用にとっておきましょう…。



★ 洗面ボウル



石鹸カスや水アカなどの汚れは、浴室用洗剤かクリームクレンザーをつけて軽くスポンジ洗いを。水アカには、メラミン製スポンジが有効です。軽い汚れなら、重曹やレモンの切れ端、塩などで磨いてもきれいになる。

汚れが落ちたら、洗剤分をよく水で洗い流し、仕上げに乾いたタオルで拭き取る。水分が残っていると、曇りや輪ジミ、カビの原因になるので、拭き取りはていねいに行うこと。

洗剤で落ちない黒ずみは、耐水性サンドペーパーを使う。1200~1500番の目の細かいものを使いましょう。使いやすい大きさにカットし、軽くぬらしてから石鹸をぬりつける。汚れの上を、円を描くようにやさしくこする。

★ 洗面台下の収納部分



扉についた手アカ、水アカ、石鹸の汚れをぞうきんで水拭きして落とします。落ちにくい汚れは、薄めた中性洗剤をふくませたぞうきんでふき取ります。

パイプまわりは、掃除機でホコリをすいとって水拭きするか、薄めた中性洗剤を含ませたぞうきんで拭き、から拭きしておきます。

★ 水栓部分



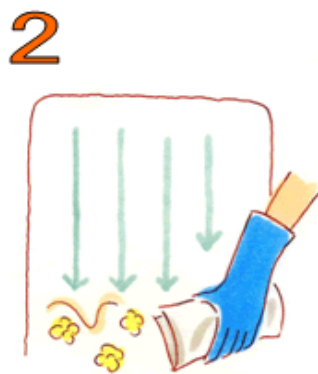
細かい部分や凹凸のある部分、壁との境界部分は歯ブラシが有効です。金属部分は、クリームクレンザーや歯磨き粉をつけて汚れを落とします。

きれいになったら、乾いたタオルで水気をよく拭き取っておきます。

★ 鏡



ガラス用洗剤をつけてしばらくおき、汚れをうかせてから下から上へと洗剤をふきとります。

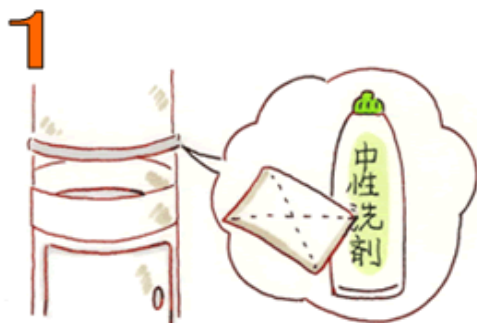


上から下へとぞうきんでふきながら残った汚れを落とします。最後にから拭きします。窓ガラスと同様にスキージーを使っても有効です。

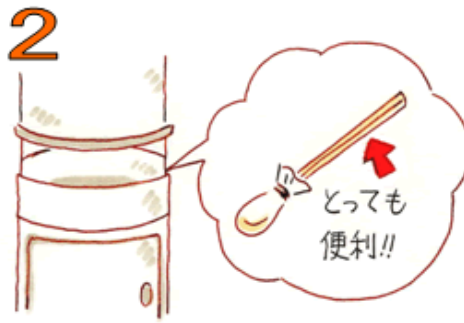


少しゆるめに絞ったタオルで全体をぬらした後、丸めた新聞紙で円を描くようにして全体を磨いてもピカピカになります。新聞紙のインクに含まれる成分が汚れを落としてくれるからです。手にインクがつかないように手袋をしているとよいでしょう……。

★ キャビネット



キャビネットの汚れは、ぞうきんで水拭きして落とします。落ちにくい汚れは、薄めた中性洗剤をふくませたぞうきんでふき取ります。



角や細かいところは、キッチンペーパーを巻きつけた割りばしをつかうと便利です。水や薄めた中性洗剤を含ませると有効です。

● 電球は、軍手で!!!



軍手をはめ、ソケットから電球をとりはずしたら、そのままなでるようにホコリをふき取ります。電球でやけどをしないように注意しましょう。

● ボトル類もキレイに!!!



石鹸や化粧品のボトル、歯ブラシなどもぬらしたぞうきんでふきとってきれいにしましょう。

カビがはえないように水気をかわいたぞうきんでふきとりましょう。